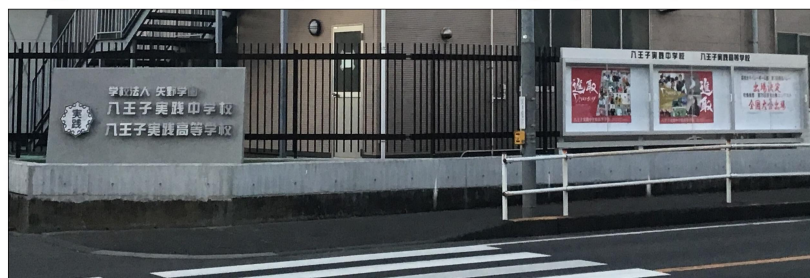


ファーストペンギン通信

第23号
発行日
令和3年1月13日(水)
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敦史

リニューアルのお知らせ



本校から六中へ向かう交差点に、本校の校名表示が新設されました。セメント地に銀色の金属文字での「学校法人矢野学園」「八王子実践中学校」「八王子実践高等学校」と、校章が掲げられました。富士森公園通りから本校校門が見えず、初めて来校された方はわかりにくかったのですが、これで非常にわかりやすくなりました。

コンビニンススペース

もうひとつのリニューアルは、校内コンビニです。床を張り替え、壁を塗りなおし、テーブル・

いすをすべて一新しました。みんなが集える「カフェテラス」をイメージしました。

ただ残念なことに感染対策を強化しなければならず、しばらくは食事での利用を制限することになってしまいました。



明けましておめでとうございます 今年もよろしくお願いします

「家族でステイホーム」の年末年始でした。いかがでしたでしょうか。緊急事態宣言が出され、さまざまな行事が中止になったり、変更されたりしますが、この通信は続けていきます。

昨年J-Trialで実施した 八王子市郷土資料館見学

この資料館は1967年に開館され、市内出土の考古資料や、市内の民俗資料などを調査・研究・収集・展示し、郷土の歴史を知る場として、多くの人々に利用されています。私たちは12月16日(水)に学校から10分程歩いて到着しました。

事前学習として、各自が本日のテーマである「日本遺産認定」と「八王子の天災と疫病」について調べました。

日本遺産認定の理由

到着後すぐに、日本遺産の構成文化財の前で、学芸員の加藤さんから説明をお聞きしました。養蚕と絹産業にまつわる多くの展示があります。八王子が「桑都」と呼ばれた理由です。

展示の中には、輸出用の生糸が横浜まで運ばれた「絹の道」



の写真と説明。実際に使われた機織り機。実物の八王子車人形(普通は三人で遣う文楽人形を車のついた箱に座って一人で扱う人形)などがありました。

さらに高尾山の薬王院について。室町時代、安土桃山時代の高尾山と八王子城。江戸時代に甲州道中の宿場町として栄えた八王子。生糸や絹織物の売買が行われた市場。様々なことを地図や絵図から学びました。



洪水対策のための「蛇籠」